



活動報告

●カーボンニュートラル BASE 北陸 北陸・韓国カーボンニュートラル ビジネス交流会

【日時】9月17日(木) 13:30-15:30

【形式】オンライン

【参加者】66名

【登壇機関】富山水素エネルギー促進協議会、産業技術総合研究所、韓国水素連合(H2K OREA)、韓国エネルギー技術研究院(KIER)

産学官金連携プラットフォーム「カーボンニュートラル BASE 北陸」は、韓国水素連合(H2KOREA)との共催により、カーボンニュートラルに関する情報交換を目的とした交流会を開催した。当日は、カーボンニュートラルに関する日韓両国の最新の取り組みや支援策、研究などが紹介されたほか、登壇機関との質疑応答が行われ、カーボンニュートラルに対する知見を深める機会となった。

登壇機関によるプレゼンテーションでは、富山水素エネルギー促進協議会と韓国水素連合が、それぞれ北陸地域・韓国における水素エネルギー利活用に向けたサプライチェーンやインフラの構築について取組を紹介した。また、産業技術総合研究所は福島再生可能エネルギー研究所における最先端技術の研究や福島で実施されている支援策について説明し、韓国エネルギー技術研究院は国際的なクリーンエネルギー市場の動向などを紹介した。

後半のディスカッションでは、「日韓協力において有望だと考えるのはどのような分野か」など、事前に各登壇機関へ寄せられた質問をもとに意見交換を行った。議論を通じて、両国に共通する課題の認識を共有するとともに、カーボンニュートラルに関する将来的な日韓協力の可能性について理解を深めた。



(担当：西野、坂本)

●北経連 WEB サイト内 「DEI の取り組み」ページリニューアル

【公開日】9月30日(水)

北陸経済連合会では、これまで特設ページ「女性活躍推進の取り組み」において会員企業の取り組みを紹介してきた。このたび、77社の会員企業から情報提供の協力をいただき、会員企業が推進する幅広い DEI (ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン) の取り組みをより分かりやすく発信する「DEI の取り組み」ページへリニューアルした。

また、新たな検索機能を追加し、企業規模や取り組み内容などの条件から企業を検索できるよう改善した。

今後も、会員企業の先進的な取り組みを広く紹介し、DEI 推進の参考となるページとなるよう、内容の充実を図っていく。

URL：<https://www.hokkeiren.gr.jp/project/diversity/>



●「DEI の取り組み」ページに掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

(担当：出口、高橋)



北経連トピックス

URL <https://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2026 年 10 月 1 日 (木) No407

発行：北陸経済連合会
編集：高橋アカネ・越野理恵
Tel:076-232-0472 Fax:076-262-8127

今後の行事予定

◆2026 年度会員懇談会（全会員対象）

●富山会場

【日時】10 月 2 日(金) 14:30-18:00

【場所】ホテルグランテラス富山

【テーマ】企業防災

●福井会場

【日時】12 月 1 日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井（ザ・グランユアーズ
フクイ）

【テーマ】高付加価値化

●石川会場

【日時】2027 年 2 月 17 日(水) 14:30-18:00

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【テーマ】ウェルビーイング

*いずれもオンライン併催

(担当：池澤)

◆【参加者募集】オンライン講演会 オープンデータによるエリアマネジメント への挑戦～データで切り開く、稼ぐ観光まちづくり～

北陸経済連合会では、「スマート・リージョン北陸」の実現に向け、オープンデータ利活用や DX の推進など、労働生産性の向上と成長を目指すための取り組み、情報提供を行っています。今回は、オープンデータ利活用の先進事例である観光 DX の取り組みや、データ利活用における生成 AI の活用状況などについての講演を行います。

【日時】10 月 15 日(水) 14:00-15:00

【形式】オンライン(Microsoft Teams)

【講師】(公社) 福井県観光連盟

福井県観光 DX コンソーシアム

FTAS ディレクター 佐竹 正範 氏

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/schedule/2434.html>

【対象】北経連会員（各団体複数名参加可）

【申込】10 月 6 日(火)までに以下 URL から申込

<https://forms.cloud.microsoft/r/ikSYxi7Dnv>

(担当：江戸、西野)

お知らせ

■北陸総合通信局からのお知らせ【参加者募集】 令和 8 年度「信書の送達に関する制度 説明会」

北陸総合通信局では、信書便の利用に関心のある方や信書便事業参入に関心のある方を対象に、信書便の制度に関する説明会を開催します。手紙や請求書などの「信書」は、国から許可を受けた事業者に限り取扱いが認められています。説明会では、社内便などの利用事例や、事業参入時の手続きについて解説します。ぜひご参加ください。

【日時】10 月 23 日 (金) 14:00-15:40

【場所】北陸総合通信局 第一会議室

※オンライン併催 (Teams)

【詳細】[制度説明会のご案内](#)

【申込】10 月 16 日(金)17 時までに以下から申込

<https://forms.cloud.microsoft/r/PhGP4TYcfd>

【問合せ】北陸総合通信局総務課信書便監理室

Mail: hokuriku-shinsyobin@soumu.go.jp

TEL: 076-233-4428

(担当：江戸)

■金沢工業大学からのお知らせ【受講者募集】 「DX リスキル教育プログラム」

金沢工業大学主催、北経連共催で「DX リスキル教育プログラム」を実施します。

生成 AI の実務活用に特化した 1 日完結の対面プログラムで、すぐに使えるビジネススキルを少人数制で習得できます。

人材育成部門・DX 推進部門等にもぜひご周知ください。



北経連トピックス

URL <https://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2026 年 10 月 1 日 (木) No407

発行：北陸経済連合会
編集：高橋アカネ・越野理恵
Tel:076-232-0472 Fax:076-262-8127

【日程】

①講義演習

2026 年 12 月 4 日(金) 9:00-17:00

場所：金沢工業大学 扇が丘キャンパス

②オンデマンド 事前・振り返り学習

2026 年 10 月 6 日(火)～2027 年 2 月 26 日(金)

【講師】井上 祐寛 客員准教授

山本 知仁 教授

【受講料】60,000 円 (税込)

【定員】20 名 (先着順)

【詳細】<https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/dxreskill/>

【申込】10 月 30 日(金)までに上記 URL から申込
(担当：江戸)

■北陸産業活性化センターからのお知らせ

『北陸フェムテックネットワーク シンポジウム』開催 【参加無料】

「フェムテックで創る健康課題の先にある経済的効果と社会的インパクト」をテーマにシンポジウムを開催します。フェムテックが今後の社会・産業にもたらす可能性や、働きやすい職場づくり、人材定着、研究開発、地域産業の創出につながる取組等について考えます。是非ご参加ください。

【日時】10 月 9 日 (金) 13:30-16:00

【場所】オンライン開催

【内容】

◇基調講演:

『ジェンダード・イノベーションのすすめ～「見えないバイアス」を可視化し「知を整える」～』

講師：佐々木 成江 氏(東北大学 DEI 推進センター副センター長・教授、横浜国立大学 ISI センター センター長・教授・学長特任補佐)

◇取組紹介

①「北陸地域におけるフェムテック産業クラスター形成の課題」

松原 宏 (福井県立大学 地域政策学部長・地域経済研究所長、北陸フェムテックネットワーク 副会長)

②「経営の視点から考える『女性特有の健康課題』～北陸企業の実態調査にみるフェムテック活用可能性～」

吉田 聡子 氏(北陸経済研究所 地域開発調査部主任研究員)

③「北陸銀行の女性活躍・フェムテックへの取組」

辻本 清美 氏(北陸銀行 人事部 ダイバーシティ推進室 室長)

④「金沢大学&芝浦工業大学 学生コラボプロジェクト：プレゼンティズムの性別差の探索」

平田 貞代 (芝浦工業大学 准教授、北陸フェムテックネットワーク 会長)

【主催】北陸フェムテックネットワーク

[事務局：北陸産業活性化センター]

【後援】北陸経済連合会、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会

【協力】中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【詳細】<https://www.hiac.or.jp/event/2681/>

【申込】以下 URL から 10 月 4 日(日)までに申込

<https://forms.cloud.microsoft/r/RDWwrNcrkf>

【問合せ】北陸産業活性化センター

TEL：076-264-3001

(担当：松尾、金谷)



以 上